

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民福祉部 健康推進課			内線等	8078
事務事業名	人間ドック管理運営事業				事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）	
根拠法令等					B 条例		

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	保健
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	事業所等を通じて人間ドックを受診できる市民に
手 段	人間ドック事業を実施することによって
想定する成果	より質の高い詳細な健診結果データを提供し、病気の早期発見、予防を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
ドック利用者	2,348人	2,652人	2,290人
検査料収入額	64,351千円	72,492千円	61,905千円
総事業費	161,262千円	133,118千円	124,156千円

成果指標

成果指標名	ドック受診者1人当たりの検査料収入額	ドック受診者1人当たりの経費
成果指標の説明	検査料収入額 / ドック利用者	(事業費 - 検査料収入額) / ドック利用者

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		27,407円				27,335円				27,033円			
成果指標		41,274円				22,860円				27,184円			
事業費	事業費	154,256				125,308				116,311			
	人件費	7,006				7,810				7,845			
	(人数)	正規	0.9	非常勤		正規	1.0	非常勤		正規	1.0	非常勤	
	合計	161,262				133,118				124,156			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他	64,862				72,922				62,355			
	一般財源	96,400				60,196				61,801			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	前年度に比べ304人増で、過去最高の利用者数であった。
経済効率性	1	1	1	1	事業費(運営委託料)の見直しを実施した。
事務効率性	2	2	2	2	4月は年度切替時期のため、ドックの申込数が極端に少ないため、年度を通して均一化を目指したい。
必要性	2	2	2	3	疾病の早期発見、早期治療のためには精度の高い人間ドックの健診結果が必要である。
小計	7	7	7	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	疾病の早期発見、早期治療を目的に、市民の健康を守るためには重要な事業である。
合計	9	7	9	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	受入体制(医師、スタッフ及び開設日)の充実により受診者数及び収入の大幅な増加を図ることができる。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
<ul style="list-style-type: none"> ・受診者の増加するよう努力する ・年間通しての受診者の波を減らす。 ・委託料の削減の交渉を進める。
上記改善点の実施状況
<ul style="list-style-type: none"> ・年度ごとに受診者が増加している。 ・年度の切替時期のため4月の受診者が依然として少ない。 ・委託料の見直しを行い、委託料の削減に努めた。

今後さらに改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・人間ドック事業の医師会への全面委託または事業の譲渡 ・4月受診者の増加を目指す。 ・医師、スタッフを充実させ受診体制の充実を図る。(1日当たりの受入人数及び女性コースの日数増)

平成21年度予算に反映する項目

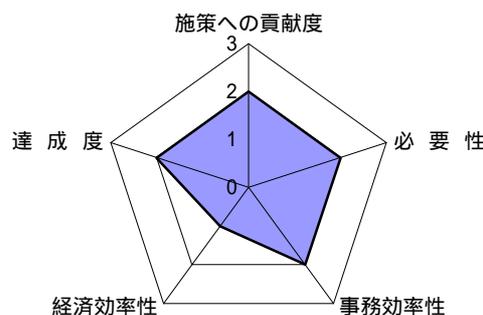
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点